7　芸術（美術）

学校番号	１０８

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	1
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段から様々なものに興味･関心をもち、視点（線）を注ぎ、移りゆく自然の色や形にも注目してみる。（本校には裏山がある。）
・構想を練るときは、必要な資料を調べる。（美術室には多くの参考資料があるし、図書館なども利用する。）
・安易な方向に走らず、作品の完成度を高める努力をしてほしい。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 取り組む姿勢 アイデアスケッチ	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	授業中の様子 発言内容 鑑賞レポート（その内容）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。　　作品提出期限厳守

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の話	【美術全般】 ・オリエンテーション 美術をうけるにあたって(私の美術体験、心得ておくべきこと) ・クロッキー	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	平面デザイン	【デザイン】 ・色彩構成(基礎) ケント紙にポスターカラーで着色する。 課題の条件を駆使して、変化と、まとまりのある構成をする	○	○	○		a:形と色の働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b:限られた条件の中で、形の工夫と、色の微妙な違いや美しさがでているか。 c:絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	幻想画	【絵画】【鑑賞】 ・過去の作品の鑑賞 説明 ・アイデアスケッチ ・制作 鉛筆を主体として ・高校展の鑑賞	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a:今までの作品にとらわれず、自分のもっている個性をどう生かしていくか。 b:イメージ用語句から、どのように発想し、構想を練るか。 c:鉛筆の使い方の工夫(点、線、面、濃淡の使い分け) d:同年代の生徒の作品を鑑賞して、刺激をうけたり、自分の中に生かしていこうとする意識を高める。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート
2学期	静物画	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・静物画 具象的表現 美術室にあるモデル	○	○	○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ

	デザイン(イメージデザイン・レタリング・コラージュ)	・イメージデザイン 都会・田舎・春・夏・秋・冬の中から1つ選択 ・レタリング基本練習 別紙資料あり ・コラージュ 2枚以上の写真を組み合わせる 静物画とデザインのどちらか1つを選択	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	b:しっかりとモチーフを観察したり、テーマに沿って、特徴を生かして構成しているか。 c:油彩、アクリル、透明水彩　それぞれの特徴を生かして表現できているか。 レタリングでは、きちっと形がとれているか。 コラージュでは、メッセージ性、意外性、衝撃、違った空間等表現できているか。 d:様々な作品を鑑賞することによって、ものの見方、考え方、発想力を広げる。	制作の様子 制作途中の作品 作品
3学期	絵画(自画像・貝殻・松ぼっくり)・巣箱・デザイン(自然形と人工形・コラージ	【絵画・立体】【デザイン】【工芸】【鑑賞】 ・油彩・アクリル・水彩 自画像・貝殻・松ぼっくりの3つの中から1つ選択 ・巣箱をつくる 居心地のいい鳥の住みか ・デザイン 自然形と人工形の形(資料あり)を利用して構成 コラージュ(ビンの形で) ・木工コースター2つ 連作で 絵画、立体、デザイン、工芸の中から1つ選択	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、思考し、創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。